



「BAR IN DIERS band」, 左よりマサルさん、梅さん、たけしさん、テリーさん。ギターのとけしさんを除いて全員がボーカル (!!)。曲目は「バリバリ、ロックでしょう」とマサルさん。



当日、フロアでいちばん頑張っ  
て踊っていたやっさん。「ひ  
と踊りたんで、街に帰るわ」  
と行って去るあたり、ただも  
んのオッサンではない。

インディーズのオーナートモ  
さんは、北山の今はなき名店  
「エディ」で知り合っ  
て以来の仲というDJ MASAも応援に。ほ  
か平田興業などもスピン。



「ちょっと様子を覗きにきました」  
という小島隆さん。「生バンドもた  
まにはイッすね」。

左・博之くん、中央奥・真紀さん、  
中央手前・忍くん、右奥・謙司く  
ん、左・忍さん。ハマっているバ  
ンドはMR.BIG、OFF SPRING、  
GREEN DAY。「イカれているのが  
エエと思う」と忍くん。

フラワリーのスタッフたちのバンド「ボケ病棟」  
は創作JAZZをプレイ、トランペットの岩田  
氏の音は耳というより、ハラに響きました。

休日にはバイクを乗り回すラッキー、ヤッちゃん  
は「フラワー」の常連。この日は「フラワー」  
のスタッフで構成される「ボケ病棟」を見に。

木屋町の「バー・インディーズ」1周年を  
記念して行われたスーパーライブ。  
オーナー・トモ氏の人脈を豊かさを物語るように、  
様々なパーマたちがステージで生音を繰り広げた。  
ロックの信者が世代の垣根を越えて集った夜。

## BAR INDIES 1st ANNIVERSARY SUPER LIVE

1996.11.10 sun at METRO

取材・文/藤枝雅一 写真/中川アキラ

# WATCHING CAREFULLY



「田中アキラ&嵐」の  
面々は「スピッツを意  
識している」と書いてく  
れ」。ホンマなんです  
か、と聞くと「ホンマ  
や(笑)、だそうです」。

step乱歩からは「キっちゃ  
んband」が出演。ハードロ  
ックでムチャクチャ踊らせ  
てもらいました。